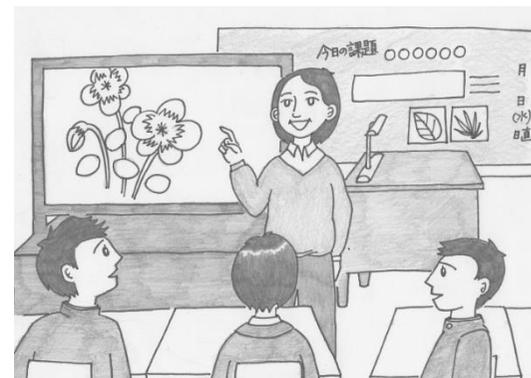


平成 28 年度  
川崎市立小学校  
学習状況調査報告  
(概要)



## ◎ 調査の概要

### 1. 調査の目的

全市的な規模で児童の学習状況を調査することにより、学習指導上の問題点及び改善点を明らかにする。その結果を、各学校においては、今後の学習指導法の改善や教育課程編成の工夫等、児童の基礎学力の向上に役立てる。

### 2. 調査の内容

#### ○国語・算数

調査の目的に基づき、学習指導要領の定める第4学年までの内容のうち、ペーパーテストで調査を行うことが適当な項目について調査を実施した。

#### ○学習意識調査（生活や学習についてのアンケート）

児童の学習や生活に対する意識等について明らかにするために、児童を対象とする意識調査を実施した。

### 3. 調査の対象 市内全市立小学校の第5学年の児童

### 4. 調査実施日及び調査対象教科・人数

(1) 調査実施日 平成28年5月10日（火）

(2) 調査対象教科・人数 小学校第5学年

国語	11,201人
算数	11,203人
生活や学習についてのアンケート	11,237人

観点及び領域ごとの正答率

話すこと・聞くこと 88.8%  
 書くこと 52.8%  
 読むこと 61.0%  
 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 75.6%

◎ 国語調査結果の概要

1. 出題・観点等一覧

通し 番号	大問 番号	中問 番号	小問 番号	解答形式		正答				観点				問題の内容	領域	出題のねらい	学習指導要領	正答率
				選択	記述	選択式→番号、記述式→言葉	話す・ 聞く能力	書く能力	読む能力	言語につい での知識・ 理解・技能	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと					
1		(1)		★		2・3 (完答)		◎						①話すこと 聞くこと	話の中心に気をつけて、発表を聞き取ることができる。	A (1)エ	96.6	
2	1	(2)		★		1		◎						①話すこと 聞くこと	話の中心に気をつけて、発表を聞き取ることができる。	A (1)エ	83.6	
3		(3)		★		4		◎						①話すこと 聞くこと	話の中心に気をつけて聞き、話し方の工夫を聞き取ることができる。	A (1)イ	86.2	
4			①	★	しけん					◎				②漢字を読む	第四学年配当漢字を読むことができる。	伝国 (1)ウ(イ)	97.0	
5		(1)	②	★	かんきつ					◎				②漢字を読む	第四学年配当漢字を読むことができる。	伝国 (1)ウ(イ)	97.5	
6			③	★	くらい					◎				②漢字を読む	第四学年配当漢字を読むことができる。	伝国 (1)ウ(イ)	97.0	
7	2		④	★	か(ける)					◎				②漢字を読む	第四学年配当漢字を読むことができる。	伝国 (1)ウ(イ)	88.5	
8		(1)	①	★	予想					◎				③漢字を書く	第三学年配当漢字を書くことができる。	伝国 (1)ウ(イ)	87.0	
9		(2)	②	★	研究					◎				③漢字を書く	第三学年配当漢字を書くことができる。	伝国 (1)ウ(イ)	59.7	
10			③	★	柱					◎				③漢字を書く	第三学年配当漢字を書くことができる。	伝国 (1)ウ(イ)	63.9	
11			④	★	悪い					◎				③漢字を書く	第三学年配当漢字を書くことができる。	伝国 (1)ウ(イ)	59.1	
12		(1)		★		3				◎				④言葉の学習	接続語を理解している。	伝国 (1)イ(ク)	86.6	
13	3	(2)		★		2				◎				④言葉の学習	主語・述語の関係を理解している。	伝国 (1)イ(キ)	56.0	
14		(3)		★	のぼる					◎				④言葉の学習	国語辞典を利用して調べることができる。	伝国 (1)イ(カ)	63.6	
15		(4)		★		4				◎				④言葉の学習	ことわざや慣用語などを適切に使うことができる。	伝国 (1)ア(イ)	51.4	
16		(1)		★		4				◎				⑤読むこと	叙述をもとに登場人物の様子や気持ちを読み取ることができる。	C (1)ウ	76.8	
17		(2)		★		2				◎				⑤読むこと	叙述をもとに登場人物の様子や気持ちを読み取り、言説することができる。	C (1)ア	85.7	
18	4	(3)		★		1				◎				⑤読むこと	叙述をもとに登場人物の様子や気持ちを読み取ることができる。	C (1)ウ	45.8	
19		(4)		★		2				◎				⑤読むこと	叙述をもとに登場人物の様子や気持ちを読み取ることができる。	C (1)ウ	75.2	
20		(5)		★		3				◎				⑤読むこと	物語を読んで、感想を述べ合うことができる。	C (2)ア	83.6	
21		(1)		★	おそろしいき					◎				⑥文章を推察する	中心となる語や文をたどって文章を読むことができる。	C (1)イ	68.6	
22		(2)		★		2				◎				⑥文章を推察する	中心となる語や文をたどらえ、文と文のつながりに注意して文章を読むことができる。	C (1)イ	57.9	
23		(3)		★		3・4 (完答)				◎				⑥文章を推察する	中心となる語や文をたどって文章を読むことができる。	C (1)イ	42.8	
24	5	(4)	十字	★	てきから身を守るため					◎				⑥文章を推察する	中心となる語や文をたどらえ文章を読むことができる。	C (1)イ	57.4	
25		(5)	八字	★	えものをとるため					◎				⑥文章を推察する	中心となる語や文をたどらえ文章を読むことができる。	C (1)イ	67.0	
26				★	冬は白く春に茶色になり、地面の色ににている見分けがつかない。					◎				⑥文章を推察する	文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を要約することができる。	C (1)エ	10.3	
27		(1)		★		3				◎				⑦書くこと	文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりできる。	B (1)オ	87.1	
28	6	(2)		★		4				◎				⑦書くこと	手紙の後づけに必要な事柄や順序を理解している。	B (2)エ	23.7	
29		(1)		★	6行以上10行以内 (101字以上200字以内) で書いている。					◎				⑧作文	目的に応じて適切に書くことができる。	B (1)ウ	56.6	
30				★	3段落構成で書いている。					◎				⑧作文	段落と段落の続き方に注意して書くことができる。	B (1)イ	48.4	
31	7	(1)		★	「自分がどのグラフを選んだか」がわかるように書かれている。					◎				⑧作文	書く必要のある事柄を収集したり選択したりして書くことができる。	B (1)ウ	69.2	
32		(2)		★	「選んだグラフを見てわかったこと」が書かれている。					◎				⑧作文	書く必要のある事柄を収集したり選択したりして書くことができる。	B (1)ウ	62.4	
33		(3)		★	「自分の考え」がはっきりと書かれている。					◎				⑧作文	自分の考えが明確になるように、段落相互の関係を考えながら書くことができる。	B (1)イ	22.5	

【解答形式について】 問題が「選択肢問題」、「記述問題」のどちらであるかを★で表しています。

※いずれも3・4年

記述式設問  
読むこと

記述式設問  
読むこと  
平均正答率  
50.8%

## 2. 領域ごとの主な問題

国語 話すこと・聞くこと 1 (1) (2) (報告書 P.8~9 問題 P.2 参照)

1

今の放送をもとに、次の問題に答えましょう。

(1) 学校の栄養士さんが心がけていることはなんですか。次から二つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 健康のために野菜中心の給食を作ること。
- 2 栄養のバランスのとれた給食を作ること。
- 3 安心して食べられる安全な給食を作ること。
- 4 おいしくてごうかな給食を作ること。

正答率 96.6%

(2) 学校の栄養士さんはなぜ地元の食材を使うようにしているのですか。次から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 地元の食材を使うことは、給食を地域で支えることにつながるから。

2 地元の食材を使うことで、地元の食材のよさを知ってほしいから。

3 地元の食材は安く手に入り、それだけたくさん買うことができるから。

4 地元の食材はめずらしいものが多く、他では手に入れることができないから。

正答率 83.6%

正答率

- ① 87.0%
- ② 59.7%
- ③ 63.9%
- ④ 59.1%

参考：平成 27 年の結果

- ① はんたい 69.7%
- ② けんきゅう 59.4%
- ③ ふえ 69.6%
- ④ かなしい 76.3%

(2) 次の文の——線のひらがなを、漢字に直して書きましよう。④  
は送りがなも書きましよう。

8  
9  
10  
11

- ① 天気が悪化がよそうされる。
- ② 自由けんきゅうの題材を考える。
- ③ まん中に太いはしらが立っている。
- ④ 今年の夏はあついらしい。

正答率

- ① 97.0%
- ② 97.5%
- ③ 97.0%
- ④ 88.5%

参考：平成 27 年の結果

- ① 栄養 96.7%
- ② 必要 94.5%
- ③ 旗 97.9%
- ④ 改める 75.2%

- ① 試験に合格する。
- ② メダカを観察する。
- ③ 百の位を切り上げる。
- ④ 茶わんのふちが欠ける。

4  
5  
6  
7

(1) 次の文の——線の漢字の読み方を、ひらがなで書きましよう。

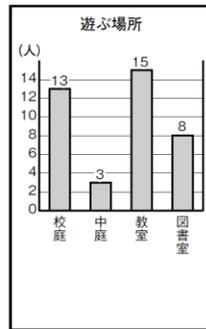
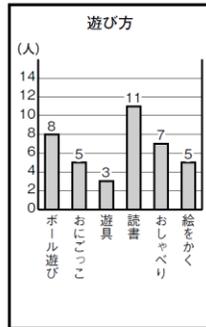
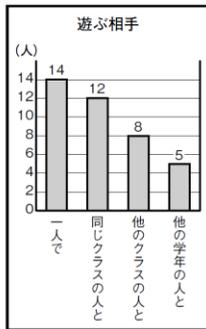
2

次の問題に答えましよう。

- (4) すみません、停めてください！とありますが、このときの「ぼく」の気持ちとして最もふさわしいものを次から一つ選んで、その番号を書きましよう。
- 1 クラス全員がバスを降りて歩いていくことを提案しようという気持ち。
- 2 自分が何をしなければいけないのか気づき、実行しようとする気持ち。
- 3 バスに乗って知らぬふりをしている自分のことをはずかしく思う気持ち。
- 4 何度もバスを止めさせて、運転手さんに申し訳なく思う気持ち。
- (5) 西村さんたちは、バスを降りるときにおツボネさまに言われた「カッコつけんなよ」の一言は、しばらく耳に貼りついてたけど、走っているうちに風が吹き飛ばしてくれた。について話し合いました。次の□にあてはまる言葉として最もふさわしいものを、あとから一つ選んで、その番号を書きましよう。
- 西村「『走っているうちに風が吹き飛ばしてくれた』って、どういう意味かな。」
- 北川「『カッコつけんなよ』といわれたことが気にならなくなっただよな。」
- 西村「どうして気にならなくなったのかな。」
- 北川「全力疾走で二人に近づくとつれて、□に自信がもてるようになったからじゃないかな。」
- 1 おツボネさまがまちがっていること
- 2 バスはちゃんと待っていてくれること
- 3 自分のとった行動が正しいこと
- 4 三人で行けば遅刻しないですむこと

正答率 83.6%

正答率 75.2%



正答率

(1) 6行以上10行以内で書いている 56.6%

(2) 3段落構成で書いている 48.4%

① 「自分がどのグラフを選んだのか」がわかるように書かれている 69.2%

② 「選んだグラフを見てわかったこと」が書かれている 62.4%

③ 「自分の考え」がはっきりと書かれている 22.5%

③ 三つめの段落には、自分の考えを書きましょう。

② 二つめの段落には、選んだグラフを見てわかったことを書きましょう。

① 一つめの段落には、自分がどのグラフを選んだのかを書きましょう。

(2) 三つの段落に分けて書きましょう。それぞれの段落の書きはじめは、一マスあげましょう。

(1) 六行以上、十行以内(一〇一字以上、二〇〇字以内)で書きましょう。

〈注意する点〉

下の三つのグラフを見て、〈注意する点〉にしたがい、報告のための文章を書きましょう。

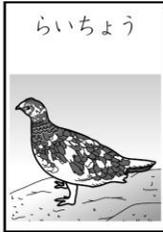
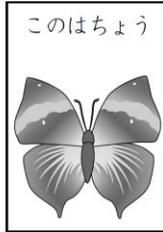


7

第二小学校の五年二組の遊び係は、四月に休み時間の遊び方について調べ、グラフにしました。そして、そのグラフからわかったことや考えたことを文章で報告することにしました。もしあなたが遊び係だったら、どのようなことを報告しますか。

3. 出題例とその分析

国語 5 (5) (報告書 P.17 問題 P.7 参照)

へらやがら 	らいちょう 	このはちょう 
⋮	⋮	⋮
細長い体が海底にあるか いめんにていて見分けが つかない。		とまっている木の葉の色 や形にていて見分けが つかない。

- 〈注意する点〉
- ① 「春」「冬」という二つの言葉を必ず使いましょう。
  - ② Bのグループの他のカードを参考にしましょう。
  - ③ 三十字以内で書きましょう。
- 【クラスで作ったカード合わせのゲーム】

Aのグループのカード

Bのグループのカード

正答率 10.3%

正答例「冬には白く春には茶色になり、地面の色にていて、見分けがつかない」

主な誤答 「春」「冬」という言葉が使われていない 4.7%

「地面（まわりの様子）」という要素が欠けている 26.4%

(5) 秋川さんのクラスでは、この文章をもとにAのグループとBのグループのカードを合わせるゲームを作りました。Bのグループのカードが一まい、まだ完成していません。次の点に注意してカードにあてはまる言葉を書き、ゲームができるようにしましょう。

AのグループとBグループのカードを合わせるゲームをつくるという言語活動を想定し、要点や細かい点に注意しながら読み、文章を要約する力を問う問題である。全国学力・学習状況調査においては、自分が興味・関心を持った職業について本で調べ、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にまとめる問題が出題されている。

○出題のねらい

文章の要点や細かいところに注意しながら読み、文章を要約することができる。

## ○授業改善に向けて

中央教育審議会の教育課程部会の国語ワーキンググループにおける審議の取りまとめでは、「現行学習指導要領の成果と課題」の中で主な課題として、全国学力・学習状況調査等の結果から、文の中における主語を捉えることや文の構成を理解したり、表現の工夫を捉えたりすること、目的に応じて、文章を要約したり複数の情報を関連付けて理解を深めたりすることなどが記されている。

四年生においては、科学読み物を紹介することを目的として、最も興味をもったところを中心に文章を要約し、紹介文を書く言語活動をしてきている。なお、三年生においては科学読み物を読んで、自分が引き付けられたところを中心に感想をまとめる言語活動を経験している。

このことを踏まえ、説明的な文章をもとにして、カードを合わせるゲームを作るという目的に応じて、文章の細かい点に注意して読み、内容を理解して要約できるかどうかを問う問題を出題した。正答率は、10.3%であった。「地面(まわりの様子)」という要素が欠けている類型が26.4%であることから、例として挙げられたカードを参考にして、raithyouについての「まわりの様子と見分けがつかない」という要点を捉えられなかったことが考えられる。また、解答累計以外の解答が、36.3%あり、この解答例としては、「地面の色にした茶色のため、まだらの羽になり、見分けがつかない。」「あたりが雪にうずまわっているところからまっ白になる。」というように春と冬の二つの要素が押さえられていないものがあった。また、本文をそのまま抜き出している解答もあった。これらの解答からは、問題文の指示についての理解が足りなかったことが考えられる。

指導にあたっては、説明的な文章の要点や細かい点に注意しながら読み、引用したり要約したりする力を身に付けさせるために、調べたことを報告したり紹介したりするなど、目的や必要感のある課題解決的な活動を設定することが大切である。具体的には、「ゲームのカードを作る」「クイズを作る」「本の帯表紙を作る」などの言語活動を設定することが考えられる。引用や要約を用いる目的を明確にするとともに、分量や時間の制約、元の文章の構成や表現の生かし方などを考えて要約する経験を積み重ねていくたい。



◎ 算数調査結果の概要

1. 出題・観点等一覧

観点ごとの正答率

数学的な考え方 42.1%  
 数量や図形についての技能 59.3%  
 数量や図形についての知識・理解 52.9%

領域ごとの正答率

数と計算 68.4%  
 量と測定 45.1%  
 図形 55.1%  
 数量関係 46.4%

通し 番号	大問 番号	中問 番号	小問 番号	解答形式			正答			観点			問題の内容	領域	出題のねらい	学習指導要領	正答率
				選択	短答	記述	選択式→番号, 短答式→言葉, 記述式→文章	数学的な 考え方	技能	知識・ 理解							
1		(1)		☆			6.57			◎			小数のたし算・ひき算	A数と計算	小数第二位までの加法ができる	4年A(5)イ	82.5
2		(2)		☆			46.79			◎			小数のたし算・ひき算	A数と計算	小数第二位までの減法ができる	4年A(5)イ	52.2
3		(3)		☆			14.4			◎			小数と整数のかけ算・わり算	A数と計算	小数×(1けた)の乗法ができる	4年A(5)ウ	83.8
4		(4)		☆			7.25			◎			小数と整数のかけ算・わり算	A数と計算	(整数)÷(整数)のわり算も除法ができる	4年A(5)ウ	66.3
5		(5)		☆			6			◎			式と計算	D数量関係	四則混合計算ができる	4年D(2)ア	82.2
6		(6)		☆			$7\frac{2}{7}$ または $\frac{51}{7}$			◎			分数のたし算・ひき算	A数と計算	帯分数を含む同分母分数の加法ができる	4年A(6)イ	66.3
7		(7)		☆			$\frac{3}{5}$ または 0.6			◎			分数のたし算・ひき算	A数と計算	帯分数を含む同分母分数の減法ができる	4年A(6)イ	67.9
8	2			☆			8(本とれて、13.6cmあまる。)			◎	○		小数と整数のかけ算・わり算	A数と計算	(小数)÷(1けた)の余りのある除法の適用問題ができる	4年A(5)ウ	45.2
9		(1)		☆			11			◎			分数の大きさ	A数と計算	分数が単位分数のいくつかで表せることがわかる	4年A(6)ア	65.2
10		(2)		☆			$1\frac{3}{4}$ または $\frac{7}{4}$			◎			分数の大きさ	A数と計算	テープ図に示された分数を読み取ることができる	4年A(6)ア	44.9
11		(3)		☆			$6(>)5\frac{2}{7} (>) \frac{36}{7}$			◎			分数の大きさ	A数と計算	分数の大小がわかり、仮分数・帯分数・整数を大小順に並べることができる	4年A(6)ア	71.2
12	4	(1)		☆			2			○	◎		小数のしくみ	A数と計算	小数が整数と同じ仕組みで表されていることを理解している	4年A(5)ア	83.2
13		(2)		☆			2.3			○	◎		小数のしくみ	A数と計算	数直線に示された小数を読み取ることができる	4年A(5)ア	89.0
14	5			☆			2.3, 4(順不同、完答)			○	◎		がい数	A数と計算	四捨五入を理解し、千の位までの概数で表すことができる	4年A(2)イ	69.2
15	6			☆			(左から) -, ×			◎	○		式と計算	D数量関係	計算順序に関する文章問題式に表すことができる	4年D(2)ア	29.8
16	7	(1)		☆			3			◎	○		かけ算・わり算	A数と計算	倍とわり算の問題を図に表すことができる	4年A(3)ア, イ	69.4
17		(2)		☆			$1200 \div 3$			◎	○		かけ算・わり算	A数と計算	図をもとに正しく式を立てることができる	4年A(3)ア, イ	69.8
18	8			☆			100			◎	◎		式と計算	D数量関係	計算のきまりを理解している	4年D(3)ア	45.3
19		説明		☆			いの角度は、一回転の角度よりどれだけ小さいかを調べて求めることができます。			◎			角	B量と測定	180°より大きい角のくふうした求め方を説明することができる	4年B(2)ア, イ	54.7
20	9	式		☆			$360 - 115 = 245$			○	◎		角	B量と測定	180°より大きい角のくふうした求め方がわかる	4年B(2)ア, イ	64.3
21		答え		☆			245(度)			○	◎		角	B量と測定	180°より大きい角のくふうした求め方がわかる	4年B(2)ア, イ	63.5
22	10	(1)		☆			2			◎			面積	B量と測定	面積の大きさについての感覚を身につけている	4年B(1)ア	29.5
23		(2)		☆			(式) $4 \times 6 (=24)$ または $6 \times 4 (=24)$ (答え) $24(\text{cm}^2)$			○	◎		面積	B量と測定	長方形の面積を求めることができる	4年B(1)ア, イ	72.1
24	11			☆			2			◎	○		平行四辺形	C図形	平行四辺形の作図の仕方を性質をもとに考えることができる	4年C(1)イ	32.6
25	12	(1)		☆			ア, イ, エ, オ(順不同、完答)			◎			四角形	C図形	向かい合った角の大きさの性質がわかる	4年C(1)ア, イ	68.7
26		(2)		☆			イ, エ(順不同、完答)			◎			四角形	C図形	四角形の対角線の性質がわかる	4年C(1)ア, イ	38.2
27	13	(1)		☆			3			◎	○		立体	C図形	立方体の展開図がわかる	4年C(2)ア, イ	74.0
28		(2)		☆			辺エウ, 辺クキ, 辺オカ(順不同、完答)			◎	○		立体	C図形	立方体の辺に平行な辺がわかる	4年C(2)ア, イ	62.2
29				☆			15(分後)			◎	○		折れ線グラフ	D数量関係	折れ線グラフから値を読み取ることができる	4年D(4)イ	78.5
30	14	(2)		☆			エ			◎	○		折れ線グラフ	D数量関係	折れ線グラフから二つの数量の変化を読み取って、随筆に合うグラフを判断することができる	4年D(4)イ	18.2
31		(3)		☆			水を入れはじめから2分後に水をためて、その8分後にまた水を入れはじめました。			◎	○		折れ線グラフ	D数量関係	折れ線グラフの変化の特徴を見出し、具体的な事象と結びつけて考え、理由を説明することができる	4年D(4)イ	18.2
32	15	(1)		☆			たて5cm, よこ3cmの長方形を切った動かして、たて5cm, よこ12cmの長方形と考えると、面積を求められます。			◎	○		面積	B量と測定	複合図形の面積の求め方を考え、説明することができる	4年B(1)イ	6.0
33		(2)		☆			辺の長さが6cm, 8cm, 10cmの三角形を切った動かして、たて8cm, よこ12cmの長方形と考えると、面積を求められます。			◎	○		面積	B量と測定	複合図形の面積の求め方を考え、説明することができる	4年B(1)イ	25.4
34	16	(1)		☆			36(cm)			◎	○		変わり方	D数量関係	数量の関係を読み、調べることができる	4年D(2)ウ	55.9
35		(2)		☆			$\bigcirc \times 6$			◎	○		変わり方	D数量関係	ともなって変わる二つの数量の関係を式に表すことができる	4年D(2)ウ	43.3

記述式設問

記述式設問  
平均正答率  
26.1%

【解答形式について】 問題が「選択問題」、「短答問題」、「記述問題」のいずれかであることを☆で表しています。

【観点について】 ◎が主たる観点、○が従たる観点を表しています。

## 2. 領域ごとの主な問題

算数 数と計算 1 (1)～(7) (報告書 P.26～28 問題 P.1 参照)

1 次の計算をしましょう。(4)はわりきれぬまで計算しましょう。

(1)  $5.37 + 1.2$

6.57

(2)  $49.2 - 2.41$

46.79

正答率

(1) 82.5%

(2) 52.2%

(3)  $4.8 \times 3$

14.4

(4)  $29 \div 4$

わりきれぬまで計算しましょう。

7.25

(3) 83.6%

(4) 66.3%

(5)  $21 - 3 \times 5$

6

(6)  $4\frac{6}{7} + 2\frac{3}{7}$

$7\frac{2}{7}$

(5) 82.2%

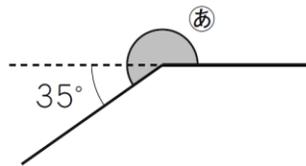
(6) 66.3%

(7)  $3\frac{1}{5} - 2\frac{3}{5}$

$\frac{3}{5}$

(7) 67.9%

9 ゆうたさんは、右の図の㊸の角度の求め方を次のように説明し、式を書いて答えを求めました。



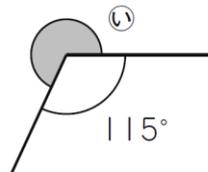
説明

㊸の角度は、半回転の角度よりどれだけ大きいかを調べて求めることができます。

(式)  $180 + 35 = 215$

答え 215 度

この説明を参考にして、右の図の㊹の角度の求め方を「一回転の角度」という言葉を使って説明し、式を書いて答えを求めましょう。



正答

㊸㊹

説明 ㊹の角度は、一回転の角度よりどれだけ小さいかを調べて求めることができます。

式  $360 - 115 = 245$

答え 245 度

正答率

平成 28 年度

説明 54.7%

式 64.3%

答え 63.5%

参考

平成 27 年度

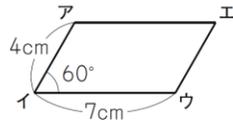
説明 30.3%

式 64.3%

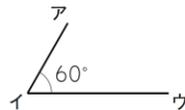
答え 68.0%

算数 図形 11 (報告書 P.40 問題 P.7~8 参照)

11 下の平行四辺形アイウエをかきます。



まず、辺アイとイウをかきました。



次に下のかき方で平行四辺形をかきます。

コンパスを使ったかき方

<p>①点アを中心として、半径7cm(辺イウの長さ)の円の一部をかく。</p>	<p>②点ウを中心として、半径4cm(辺アイの長さ)の円の一部をかく。</p>
<p>③交わった点をエとする。</p>	<p>④点アと点エ、点ウと点エを直線で結ぶ。</p>

左のコンパスを使ったかき方は、平行四辺形のどの持ちようを使っていますか。答えは1~4から1つ選んで、その番号を書きましょう。

平行四辺形は、

- 1 向かい合っている辺が平行である。
- 2 向かい合っている辺の長さが等しい。
- 3 向かい合っている角の大きさが等しい。
- 4 2本の対角線がそれぞれ真中の点で交わる。

平成 28 年度

- 1 29.7%
- 2 32.6% (正答)
- 3 17.1%
- 4 13.0%

平成 27 年度

- 1 30.2%
- 2 32.3% (正答)
- 3 16.6%
- 4 14.3%

参考：平成 26 年の結果

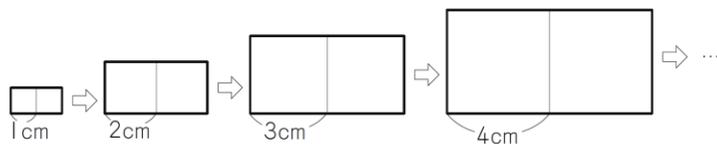
平行四辺形をコンパスで作図する問題

正答率 74.5%

平成 28 年度

**16** 下の図は正方形を2こ組み合わせて作った形です。正方形の1辺の長さを1cm, 2cm, 3cm, ...と変えていくと周りの長さは6cm, 12cm, 18cm, ...となります。

このときの正方形の1辺の長さ $\circ$ と下の図の周りの長さ $\triangle$ の関係について、表をつくって調べていきます。



正方形の1辺の長さ $\circ$ (cm)	1	2	3	4	5	6	
周りの長さ $\triangle$ (cm)							

(1) 正方形の1辺の長さが6cmのときの周りの長さを書きましょう。 ●

36 cm

(2) 正方形の1辺の長さを $\circ$ cm, 周りの長さを $\triangle$ cmとして、1辺の長さ $\circ$ と周りの長さ $\triangle$ の関係を表す式を式に表すと次のようになります。

$\boxed{\text{ア}} = \triangle \quad \circ \times 6$

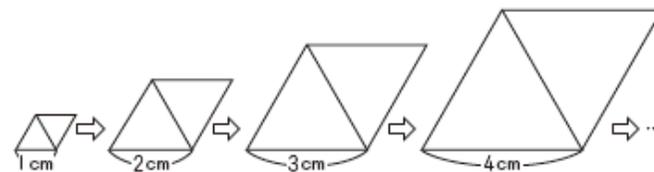
$\boxed{\text{ア}}$ にあてはまる式を答えましょう。 ●

正答率 (1) 55.9% (2) 43.3%

平成 27 年度

**16** 下の図は正三角形を2個組み合わせて作った形です。正三角形の1辺の長さを1cm, 2cm, 3cm, ...と変えていくと周りの長さは4cm, 8cm, 12cm, ...となります。

このときの正三角形の1辺の長さ $\circ$ と下の図の周りの長さ $\triangle$ の関係について、表をつくって調べています。



正三角形の1辺の長さ $\circ$ (cm)	1	2	3	4	5	6	
周りの長さ $\triangle$ (cm)							

(1) 正三角形の1辺の長さが6cmのときの周りの長さを書きましょう。 ●

24 cm

(2) 正三角形の1辺の長さを $\circ$ cm, 周りの長さを $\triangle$ cmとして、1辺の長さ $\circ$ と周りの長さ $\triangle$ の関係を表す式を式に表すと次のようになります。

$\boxed{\text{ア}} = \triangle \quad \circ \times 4$

$\boxed{\text{ア}}$ にあてはまる式を答えましょう。 ●

正答率 (1) 67.7% (2) 54.1%

### 3. 出題例とその分析

算数 14 (3) (報告書 P.43 問題 P.11~12参照)

#### ○出題のねらい

折れ線グラフの変化の特徴を見出し、具体的な事象と結び付けて、グラフの特徴を説明することができる

ウの水の入れ方について、【ゆみさんの説明】を参考に、グラフの特徴を捉え、具体的な事象と結び付けて、その変化の様子を言葉で説明する問題を出題した。

**14** 右の折れ線グラフは、同じ大きさの水そうにア、イ、ウ、エの4つの入れ方で40Lまで水を入れたときの記録です。

(3) ゆみさんは、エの水の入れ方を、グラフの特ちょうをみて、次のように説明しました。

【ゆみさんの説明】  
水を入れはじめてから8分後に水を入れる量を多くしました。

この説明を参考にして、ウの入れ方の説明をしましょう。 ●

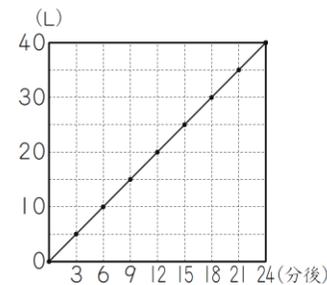
正答率 18.2%

正答例

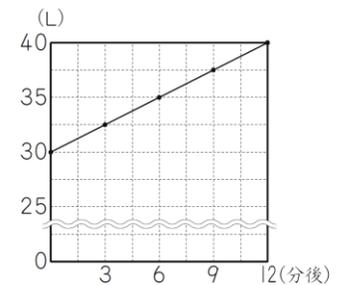
水を入れはじめてから2分後に水を止めて、10分後にまた水を入れはじめました。

水を入れはじめてからの時間と、水の量

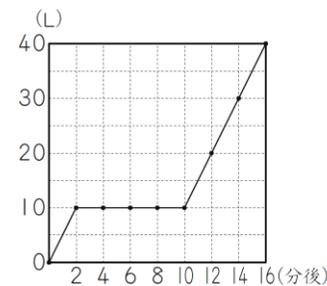
アの入れ方



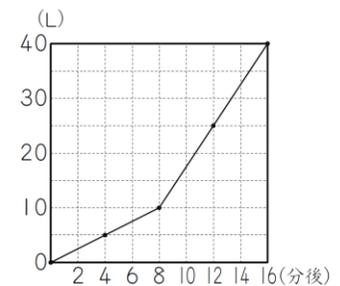
イの入れ方



ウの入れ方



エの入れ方



## ○授業改善に向けて

中央教育審議会の教育課程部会の算数・数学ワーキンググループにおける審議の取りまとめでは、現代的な諸課題を踏まえた教育内容の見直しの中で、統計的な内容等について改善の方向性として、小学校では折れ線グラフ等について考察を深めること、理科や社会など他教科等と算数の内容の関連を引き続き留意することが示されている。

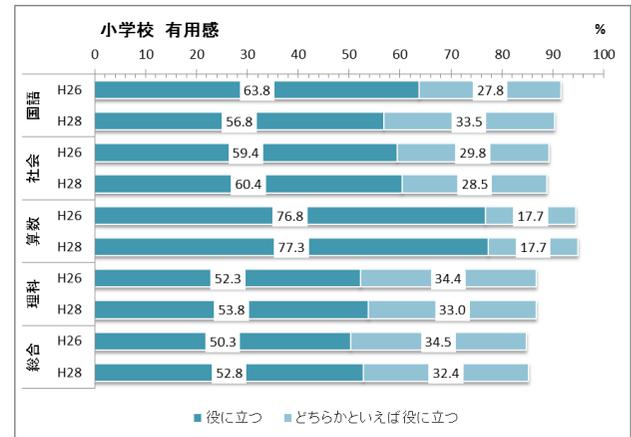
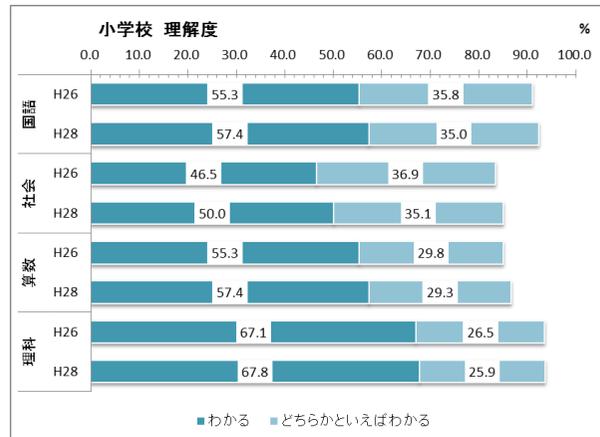
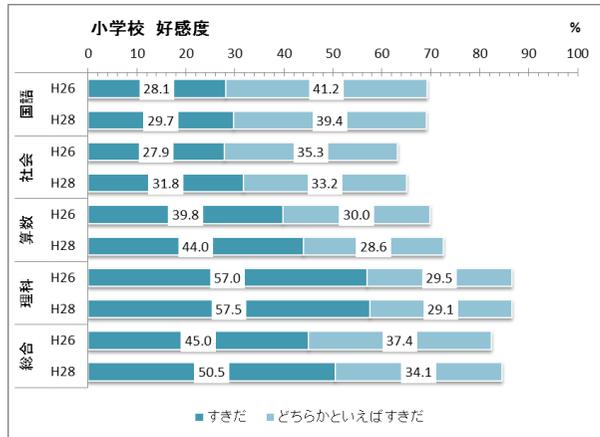
小学校4年生の「折れ線グラフ」では、変化の様子を折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすることを学習してきている。その中で、「やかんで水を温めたとき、途中で5分間火を止めたよ。」という話をもとに、適切なグラフを選ぶ学習をしている。

このようなことを踏まえ、水を止めて再び水を入れる様子を表しているグラフを説明する問題を出題した。正答率は18.2%であった。無解答率が14.6%であることから、解答はしているもののグラフの変化の様子を具体的な事象と結び付けていないこと、特に、水の量が変化していない時間のグラフを「水を入れるのをやめた」ということが表現できていないことが考えられる。

指導に当たっては、複数のグラフを比較・検討し、具体的な事象と結び付けて、グラフの特徴について説明することを通して、時間や水の量の数値に着目して、変化の大きさや増え方の違いについて考察することが考えられる。また、こうした活動を通して、関数の考えや統計的な見方を伸ばすとともに、そのよさや有用性を実感させ、進んで生活や他教科の学習に生かそうとする態度を養うよう配慮する必要がある。

## ◎ 生活や学習についてのアンケート

### 1. 授業に対する好感度・理解度・有用感について

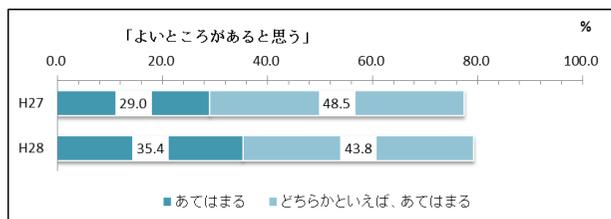


「好き」「どちらかといえば好き」と回答した児童は、国語 69.1%、社会 65.0%、算数 72.6%、理科 86.6%、総合 84.6%である。平成 26 年度と比較すると、± 5 ポイントの範囲内にあるので、すべての教科等で同程度の結果となっている。また、「すきだ」と回答した児童は算数で 4.2 ポイント、総合で 5.5 ポイント高くなっている。

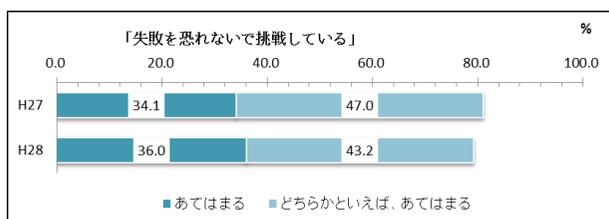
「わかる」「どちらかといえばわかる」と回答した児童は、国語 92.4%、社会 85.1%、算数 86.7%、理科 93.7%である。平成 26 年度と比較するとすべての教科等で同程度の結果となっている。また、「わかる」と回答した児童は社会で 3.5 ポイント高くなっている。

「役に立つ」「どちらかといえば役に立つ」と回答した児童は、国語 90.3%、社会 88.9%、算数 95.0%、理科 86.8%、総合 85.2%である。平成 26 年度と比較するとすべての教科等で同程度の結果となっている。

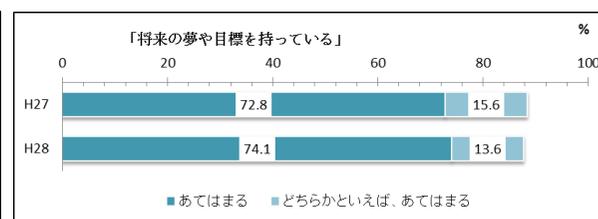
## 2. 自尊意識・将来に関する意識などについて



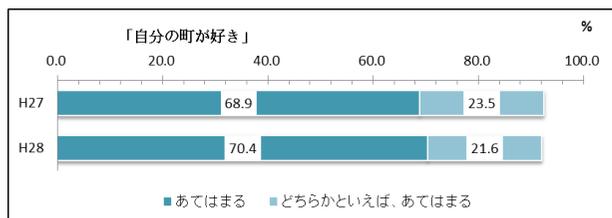
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した児童は、79.2%である。平成27年度と比較すると、ほぼ同程度の結果であるが、「あてはまる」と回答した児童は6.4ポイント高くなっている。



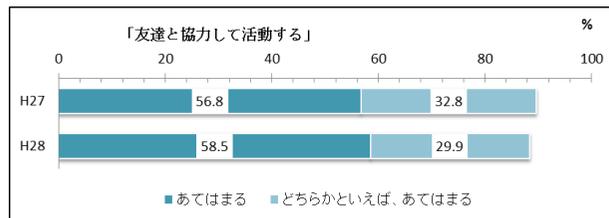
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した児童は、79.2%である。平成27年度と比較すると、ほぼ同程度の結果である。



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した児童は、87.7%である。平成27年度と比較すると、ほぼ同程度の結果である。



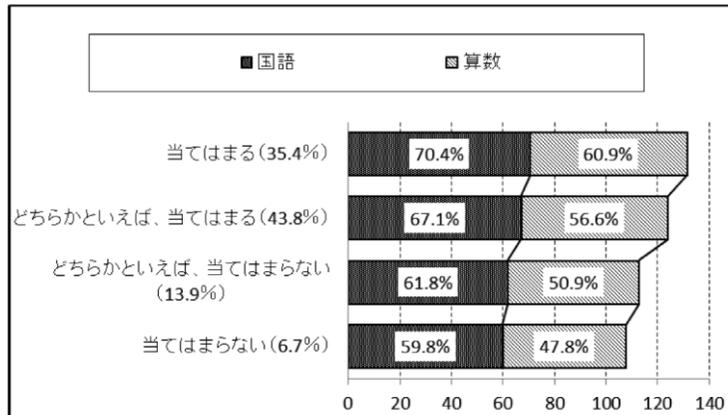
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した児童は、92.0%である。平成27年度と比較すると、ほぼ同程度の結果である。



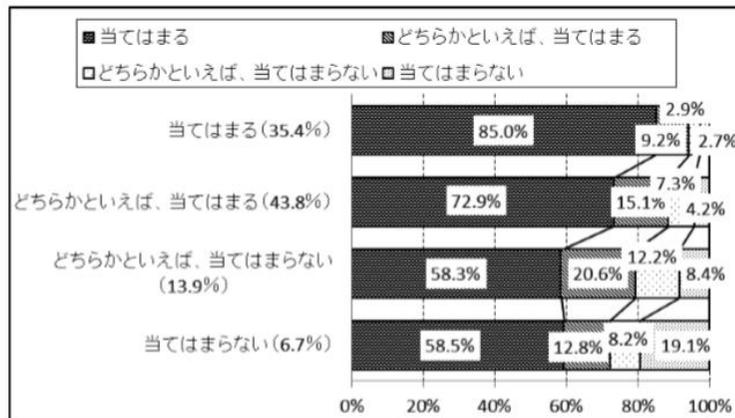
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した児童は、88.4%である。平成27年度と比較すると、ほぼ同程度の結果である。

### 3. 自尊意識とクロス集計について

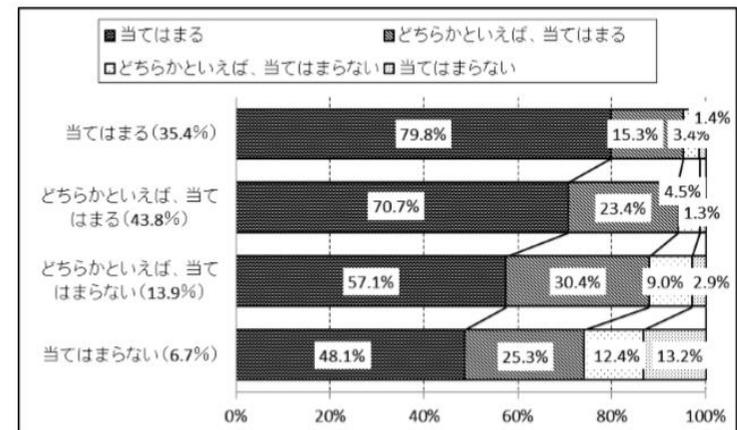
21 国語・算数の正答率×自尊意識【問37】



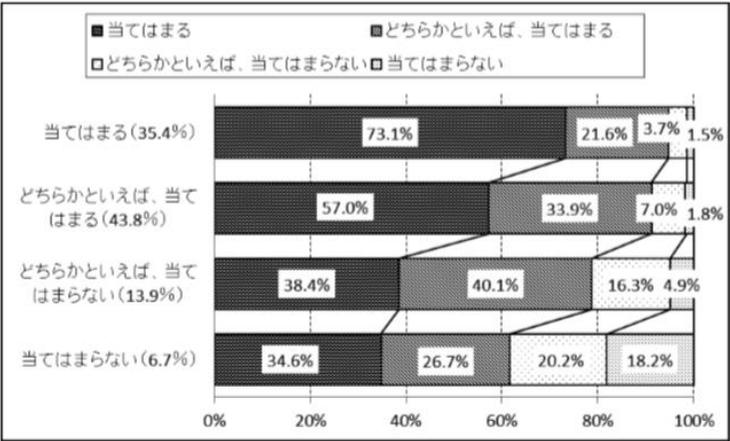
22 自尊意識【問37】×将来の夢や目標【問39】



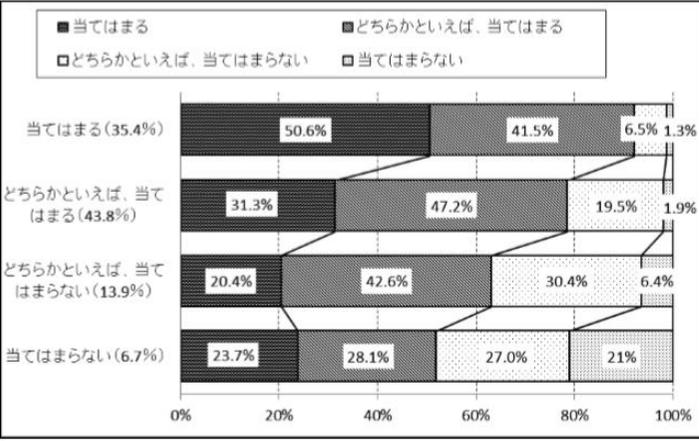
23 自尊意識【問37】×郷土への愛着【問40】



24 自尊意識【問 37】×他者との協力・協働【問 41】



25 自尊意識【問 37】×学びへの挑戦【問 38】



# ◎ 調査結果の活用

## 川崎市学習状況調査 わかりやすい個票を保護者・児童に提供

児童生徒・保護者に学習状況を伝え、一人一人の課題を明確にし、学習に取り組む態度や家庭学習の改善に役立てます。

### 川崎市学習状況調査 個人成績表 [小学]

175号 川崎市学習状況調査  
小学5年 2016年 9月1日集計

1460001  
川崎市立 小学校  
5年 1組 番

#### ■今回の成績

教科	あなたの正答率	市内平均正答率	期待正答率	正答率グラフ (▼は市内平均正答率)			
				90	80	70	60
国語	76	67	69	▼			
算数	71	57	59	▼			
全教科平均	74	62	64	▼			

#### ■意識調査

※各項目に対して、10歳学年全体の割合が%で示されています。あなたの回答が何割に占めていますか。

質問	回答	割合
学校生活は、楽しいですか。	楽しい	65.2
どちらかといえば、楽しい	どちらかといえば、楽しい	28.2
どちらかといえば、楽しくない	どちらかといえば、楽しくない	1.8
楽しくない	楽しくない	0.0
無回答	無回答	0.0
学校の勉強は、よくわかりますか。	よくわかります	68.2
どちらかといえば、わかります	どちらかといえば、わかります	30.0
どちらかといえば、わかりません	どちらかといえば、わかりません	9.7
わかりません	わかりません	3.0
無回答	無回答	0.0

#### ■教科別分析 国語

##### 観点別到達度チャート

##### 学習アドバイス

「言葉の知しき」の力は一通り身につけているようです。知らない言葉に出会ったら辞書で調べて意味を覚え、覚えた言葉はどんどん使ってみようしましょう。

No	観点名	正答数/問題数	正答率	正答率グラフ (▼は市内平均)	市内平均正答率
1	話す・聞く能力	3/3	100	▼	89
2	書く能力	5/7	71	▼	53
3	読む能力	8/11	73	▼	61
4	言語事項	9/12	75	▼	75

#### ■教科別分析 算数

##### 観点別到達度チャート

##### 学習アドバイス

「数量や図形についての技能」の力をつけるためには、細かいでていきい部分の教科書でたしめ、意味も確認をくり返し練習することが大切です。まちがえた問題も必ずやり直しましょう。

No	観点名	正答数/問題数	正答率	正答率グラフ (▼は市内平均)	市内平均正答率
1	数値的な考え方	6/9	67	▼	37
2	数量や図形についての知識・理解	9/12	75	▼	65
3	数量や図形についての技能・理解	10/14	71	▼	62

#### 意識調査 (続)

学校の勉強は、よくわかりますか。	よくわかります	67.3
どちらかといえば、わかります	どちらかといえば、わかります	35.0
どちらかといえば、わかりません	どちらかといえば、わかりません	5.9
わかりません	わかりません	1.6
無回答	無回答	0.2
学校の勉強は、よくわかりますか。	よくわかります	73.8
どちらかといえば、わかります	どちらかといえば、わかります	18.8
どちらかといえば、わかりません	どちらかといえば、わかりません	5.8
わかりません	わかりません	3.1
無回答	無回答	0.5
学校の勉強は、よくわかりますか。	よくわかります	35.7
どちらかといえば、わかります	どちらかといえば、わかります	37.0
どちらかといえば、わかりません	どちらかといえば、わかりません	19.6
わかりません	わかりません	7.2
無回答	無回答	0.2
学校の勉強は、よくわかりますか。	よくわかります	49.9
どちらかといえば、わかります	どちらかといえば、わかります	36.1
どちらかといえば、わかりません	どちらかといえば、わかりません	11.7
わかりません	わかりません	3.1
無回答	無回答	0.2
学校の勉強は、よくわかりますか。	よくわかります	29.3
どちらかといえば、わかります	どちらかといえば、わかります	39.9
どちらかといえば、わかりません	どちらかといえば、わかりません	23.0
わかりません	わかりません	0.4
無回答	無回答	0.3
学校の勉強は、よくわかりますか。	よくわかります	58.4
どちらかといえば、わかります	どちらかといえば、わかります	36.8
どちらかといえば、わかりません	どちらかといえば、わかりません	16.7
わかりません	わかりません	7.7
無回答	無回答	0.4
学校の勉強は、よくわかりますか。	よくわかります	32.4
どちらかといえば、わかります	どちらかといえば、わかります	30.1
どちらかといえば、わかりません	どちらかといえば、わかりません	24.6
わかりません	わかりません	12.4
無回答	無回答	0.6

**【様々な情報提供】**  
小問別、領域別、観点別に川崎市平均正答率と結果を示しています。

**【意識調査】**  
アンケート調査については、国語、社会、算数、理科について授業の理解度などについて選択肢別の回答率を示しています。

■設問分析表/デジタル答案

○=正答、●=誤答、△=部分正答

大問/小問	領域名	設問の内容	設問別正答率グラフ				正答率 (%)	正誤
			0%	50%	100%	誤答率 (%)		
1	算	1 読み・聞く 内よりの読み取り	100	100	100	96	○	
1	算	2 読み・聞く 内よりの読み取り	100	100	100	84	○	
1	算	3 読み・聞く 乗算のしくみ	100	100	100	84	○	
6	算	1 書く 文面に合った表げん	100	100	100	53	○	
6	算	2 書く 手紙の返付の書き方	100	100	100	24	○	
6	算	3 書く てきつな図表で書く	100	100	100	48	○	
7	算	1 書く 自分の考えを書く	100	100	100	69	○	
7	算	2 書く 自分の考えを書く	100	100	100	62	○	
7	算	3 書く 自分の考えを書く	100	100	100	22	○	
7	算	4 書く 自分の考えを書く	100	100	100	67	○	
4	算	1 読む 素げんの読み取り	100	100	100	85	○	
4	算	2 読む 音読のくふう	100	100	100	46	○	
4	算	3 読む 内よりの読み取り	100	100	100	75	○	
4	算	4 読む 気持ちの読み取り	100	100	100	68	○	
4	算	5 読む 内よりの読み取り	100	100	100	43	○	
5	算	1 読む つなぐ言葉	100	100	100	58	○	
5	算	2 読む 内よりの読み取り	100	100	100	57	○	
5	算	3 読む 内よりの読み取り	100	100	100	67	○	
5	算	4 読む 内よりの読み取り	100	100	100	10	○	
5	算	5 読む 素問の要約	100	100	100	75	○	
2	算	1 算語事項 「試練」の読み	100	100	100	97	○	
2	算	2 算語事項 「戦慄」の読み	100	100	100	97	○	
2	算	3 算語事項 「目」の読み	100	100	100	97	○	
2	算	4 算語事項 「文ける」の読み	100	100	100	88	○	
2	算	5 算語事項 「字裡」の書き取り	100	100	100	87	○	
2	算	6 算語事項 「字裡」の書き取り	100	100	100	64	○	
2	算	7 算語事項 「目」の書き取り	100	100	100	59	○	
2	算	8 算語事項 つなぐ言葉	100	100	100	86	○	
2	算	9 算語事項 「目」の書き取り	100	100	100	56	○	
2	算	10 算語事項 「目」の書き取り	100	100	100	63	○	
2	算	11 算語事項 語彙的使い方 ことわざ	100	100	100	51	○	

大問/小問	領域名	設問の内容	設問別正答率グラフ				正答率 (%)	正誤
			0%	50%	100%	誤答率 (%)		
1	算	1 小数のたし算	100	100	100	82	○	
1	算	2 小数のひき算	100	100	100	83	○	
1	算	3 小数のかけ算	100	100	100	66	○	
1	算	4 分数のたし算	100	100	100	66	○	
1	算	5 分数のひき算	100	100	100	68	○	
1	算	6 分数のわり算の利用	100	100	100	65	○	
1	算	7 分数のしくみ	100	100	100	45	○	
2	算	1 小数のしくみ	100	100	100	71	○	
2	算	2 小数のしくみ	100	100	100	83	○	
2	算	3 小数と整数線が一致の正しい	100	100	100	69	○	
2	算	4 小数と整数線が一致の正しい	100	100	100	69	○	
2	算	5 倍と数直線	100	100	100	54	○	
2	算	6 倍と数直線	100	100	100	45	○	
9	算	1 角度の求め方	100	100	100	39	○	
9	算	2 角度を求める式	100	100	100	64	○	
9	算	3 角度の計算	100	100	100	63	○	
9	算	4 面積の大きさ	100	100	100	29	○	
10	算	1 面積の計算	100	100	100	72	○	
10	算	2 面積の計算	100	100	100	6	○	
10	算	3 面積の計算	100	100	100	25	○	
10	算	4 面積の計算	100	100	100	55	○	
11	算	1 平行四辺形の特性	100	100	100	69	○	
11	算	2 平行四辺形の特性	100	100	100	69	○	
11	算	3 四角形と向かい合った角	100	100	100	38	○	
11	算	4 立方体の展開図	100	100	100	74	○	
11	算	5 立方体の展開図	100	100	100	49	○	
1	算	1 計算のきまり	100	100	100	82	○	
6	算	1 計算のきまり	100	100	100	30	○	
6	算	2 かけ算のくふう	100	100	100	48	○	
14	算	1 折れ線グラフと時間の読み取り	100	100	100	18	○	
14	算	2 折れ線グラフと水の入れ方の説明	100	100	100	18	○	
14	算	3 グラフと水の入れ方の説明	100	100	100	56	○	
16	算	1 変わり方と式	100	100	100	43	○	
16	算	2 変わり方と式	100	100	100	43	○	

**【わかりやすい提示】**  
分析と解答用紙が上下で示されており、小問ごとに学習状況を確認することができます。

Handwritten student answers for the first part of the test. The page shows analysis and solutions for various math problems, including calculations and explanations. The text is written in Japanese and includes calculations and explanations.

Handwritten student answers for the second part of the test. The page shows calculations and solutions for various math problems, including calculations and explanations. The text is written in Japanese and includes calculations and explanations.